

ウクライナ人道支援コンサート

4月23日（日）に富山県高岡文化ホール大ホールにおいて、「第2回ウクライナ人道支援コンサート」が開催され、463名が来場しました。コンサートでは、ウクライナ出身で現在日本在住のバンドゥーラ奏者・歌手のカテリーナさんが、ウクライナの伝統的な美しい曲の数々と日本の懐かしい曲を、ウクライナの現状に関するトークを交えて、しみじみと聴かせてくださいました。

第2回ウクライナ人道支援コンサート

カテリーナ
Kateryna
民族楽器バンドゥーラ奏者・歌手

戦禍にある故郷
ウクライナへ
想いをのせて

Profile
ウクライナ生まれ。生後30日で
チェルノブイリ原発事故に被災。
被災した子どもたちで結成された
音楽団「チェルボナリナ」
に6歳で入団し、日本を含む
世界各地での公演に参加。
日本の素晴らしさに魅惑され、
19歳で日本に移住。
日本で数少ないバンドゥーラ
奏者としてウクライナ音楽の
公演活動をしている。

4/23 (日曜) 13:30~15:30 [開場 13:00]
¥3,000 全席自由
富山県高岡文化ホール 大ホール
高岡市川園町 13-1

ウクライナ人道支援コンサート実行委員会
第2回富岡コンサート担当 村上正浩
Tel: 090-8128-8078
Mail: aris.kong.murakami@gmail.com
後援: ウクライナ大使館、富山県、北日本新聞社

このコンサートは、村上さんがウクライナの研究者の方から現地の状況を知らされたことをきっかけにウクライナ支援に関心を持たれ、昨年の8月から実行委員会メンバー4人（相本、八嶋、越田（35回卒業）、村上（実行委員長））で準備されたものです。

コンサートの当日は、T27の有志が受付などのお手伝いに参加くださいました。司会は相本さんが行い、第1部と第2部の幕間では、村上さんによるウクライナ人研究者の方から送られてきた現状に関する映像とメッセージの紹介がありました。また、今回のコンサートのチケット売上げから必要経費を差し引いた収

益に、募金活動に寄せられた寄付金を合わせた額190万円余りを、食料、医薬品の購入費用などの人道支援の費用としてウクライナ大使館に寄付するとの説明もありました。

来場された皆さんは、カテリーナさんの素晴らしい演奏と美しい歌声を堪能するとともに、ウクライナの現状を再認識することができ、とても有意義な時間を過ごされたことと思います。



北日本新聞社による報道記事がありましたので、下記掲載いたします。



平和願い弾き語り 高岡でウクライナ出身カテリーナさん

2023年4月24日 05:00

地域



バンドウラの弾き語りを披露するカテリーナさん＝県高岡文化ホール

「ウクライナ人道支援コンサート」が23日、富山県高岡文化ホールで開かれ、ウクライナ出身で民族楽器バンドウラ奏者・歌手のカテリーナさん（東京）が弾き語りを披露した。観客は平和への願いを込めた音楽に聞き入った。

カテリーナさんは18年前に来日し、同国の伝統的な弦楽器バンドウラの音楽活動をしている。

ウクライナの子守歌「幸せの鳥」で幕開けし、哀愁を帯びた同国の曲を続けた。オリジナル曲「平和な空」や「涙そうそう」「イメージン」も披露。65本の弦を操りながら、情感のこもった美しい歌声を響かせた。ロシアの侵攻を受ける母国への思いを語り「早く戦争が終わってほしい。ウクライナの平和は世界の平和につながっている」とした。

コンサートは、村上正浩京都大名誉教授（砺波市）ら4人でつくる実行委員会が開催。収益と会場で集めた募金を27日にウクライナ大使館に届け、役立ててもらおう。北日本新聞社後援。

なお、これに先立ち、北陸中日新聞社からの報道も下記ありました。

ウクライナ支援民族の調べ 23日、高岡で演奏会

2023年4月21日 05時05分 (4月21日 10時10分更新)



バンドウラをつまびきながら歌声を響かせたカテリーナさん＝1月12日、愛知県碧南市芸術文化ホールで

◇カテリーナさん

ウクライナ出身で、同国の民族楽器「バンドウラ」奏者・歌手カテリーナさんを招いたウクライナ人道支援コンサートが、二十三日午後一時半から高岡市中川園町の県高岡文化ホールで開かれる。実行委員会の代表を務める京都大名誉教授の村上正浩さん（66）＝砺波市＝は「ウクライナでは、罪を犯していない人たちが悲惨なことになる。ウクライナの平和は私たちの平和。ウクライナの将来は私たちの将来。決して人ごとではない」と話し、来場を呼びかけている。

きっかけは、ウクライナの研究者から寄せられた窮状を訴える電子メール。この研究者は数年前、京大の村上研究室に短期的に受け入れる予定だったが、新型コロナウイルスの感染拡大、ロシアのウクライナ侵攻で来日が実現しなかった。その後もやりとりは続き、村上さんが「何かできることがないか」と考えた。昨年五月、生まれ育った砺波市内に戻った村上さんが母校の高岡高校の卒業生らに相談したところ、演奏会が具体化した。

三月上旬に氷見、砺波両市でカテリーナさんによるミニ演奏会などが催されており、今回が本番となる。

集まった支援金は村上さんがウクライナ大使館に出向き、駐日大使に直接手渡す。

カテリーナさんは生後三十日で遭ったチェルノブイリ原発事故で、故郷を追われ、同じように避難する子どもらでつくる音楽団に六歳で入団。世界で演奏する中、日本の魅力に引かれて二〇〇六年に来日。バンドウラ奏者・歌手として各地で活動している。

演奏会は全席自由で、入場料は三千円。